≪ニュースリリース≫

2026 年 11 月 27 日（金）
リンナイ株式会社

「室蘭市を供給ハブとした地域間連携による再エネ由来水素サプライチェーンモデル構築・実証事業」に参画

リンナイ株式会社（本社：愛知県名古屋市、社長：内藤　弘康）は、室蘭市が代表事業者として実施する「室蘭市を供給ハブとした地域間連携による再エネ由来水素サプライチェーンモデル構築・実証事業」に、協力事業者として参画します。

本事業は、環境省が公募した「令和 8 年度コスト競争力強化を図る再エネ等由来水素サプライチェーンモデル構築・実証事業」の採択を受けて実施されるものです。室蘭市を再エネ由来水素の製造・供給拠点、登別市および伊達市を需要拠点とし、地域間で水素を輸送して観光・農業・建設機械などに活用することで、地域間連携型の水素サプライチェーンモデルの構築を目指します。事業期間は 2026 年度から 2029 年度までの予定です。

リンナイは、本事業において自社で開発した水素給湯器を提供し、再エネ由来水素の給湯用途での利活用に関する実証に協力します。実証を通じて、水素給湯器の運用に関する知見を蓄積し、水素を利用した熱需要の脱炭素化に向けた可能性を検証していきます。

リンナイは、これまでも水素 100%燃焼給湯器の技術開発や実使用環境での実証に取り組んできました。引き続き、カーボンニュートラル社会の実現に向けて、環境貢献につながる技術開発および商品・サービスの提供を進めてまいります。



水素給湯器

ご参考：
室蘭市「室蘭市を供給ハブとした地域間連携による再エネ由来水素サプライチェーンモデル構築・実証事業」
https://www.city.muroran.lg.jp/business/?content=13021

≪本件のお問い合わせ先≫
リンナイ株式会社　広報・IR 部　TEL 052-361-8211（代表）

（注）本資料に記載されている内容は発表日時点の情報です。
ご覧になった時点で、内容が変更になっている可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

実証事業の概要

■ 事業名

室蘭市を供給ハブとした地域間連携型による再エネ由来水素サプライチェーンモデル構築・実証事業

■ 事業期間

2026 年度～2029 年度

■ 事業概要

室蘭市で製造した再エネ由来水素を登別市および伊達市へ輸送し、観光・農業・建設機械などで活用することで、地域連携型の水素サプライチェーンモデルの構築を目指します。リンナイは水素給湯器を提供し、給湯用途での水素利活用に関する実証に協力します。

